

上川口小学校

いのを輝かす

『やりぬく力の育成』

— 挑戦・不屈・努力 —

校長 前田 浩文

◆はじめに

本年度(平成26年度)、「上川口小学校」と「伊田小学校」が統合し、新たなスタートを切りました。

互いの学校・地域のよき伝統や文化を活かしながら、子どもたちが、安心して生活ができ、自由に表現し、そして、

自分に自信のもてるような学校を創造することを念頭に置きながら取り組んでいます。

4月の出会いから、50人の子どもたちが、互いに思いやりながら楽しく学校生活を送っています。それが何よりうれしいことです。

◆学校教育目標

「いのちを輝かす」やりぬく力の育成」挑戦・不屈・努力」

ある心理学者の調査によると、自分の夢や目標を達成した人が備えている力は「やりぬく力」であり、その力の源は「自尊感情や成功思考」の高さによると結論づけていま



国語科でICT

本校の学力調査結果を分析すると、応用問題の正答率の高さとプレゼンテーション

す。そうした側面から「やりぬく力の育成」として本校の教育目標に位置づけました。この目標を基に、私たちは、校内の研究について「自分の考えや思いを伝え、判断し行動できる児童の育成を目指して」というテーマを設け、取り組んでいます。思考し、判断し、表現し、行動できる状態は、自信を持って、他者と協働・共生できる力であり、教育目標に近づくことができると考えています。

◆学力向上

ICTで授業改善

授業改善の一つのツールとして、ICT(情報通信技術)教育に取り組んでいます。全学級に大型テレビモニター、パソコン、書画カメラを設置して、子どもたちが楽しく、より分かる授業を創造しています。



平和学習プレゼン

ン能力の高さには相関関係があることが分かります。現在、6年生は、全員がパソコンを使ってプレゼン資料を作り、説明ができます。子どもたちにとってもICTは、多くの情報を整理し、相手に分かるように伝えるための編

集能力を、楽しみながら身につけることができる上で効果的です。

このような「伝える力」をいかに育てるかという視点で、学力データを活用しています。

平成26年度 標準学力調査結果

(全国を1とする)

	2年	3年	4年	5年	6年
国語	0.95	0.91	1.13	0.90	—
算数	0.95	0.95	1.10	0.96	—
理科	—	—	1.00	0.89	1.04

◆豊かな心く生き方に学ぶ

私たちは、授業はもちろんのこと、すべての教育活動において「褒めて・認めて・励ます」というモットーで臨んでいます。子どもたちのあ

さつの様子や、善行、がんばったことなどを見過ごすことなく全体の場や学級で評価すること、子どもたちの自尊心(自分を大切に思い、自信を持つ)の高まりを期待しています。また、ボランティア



朝会かき聞読み

書活動の奨励、そして、人権教育参観日、キャリア教育参観日など、講

師を招いて講演会を開くことなどを通して、人としての生き方について学んでいます。

◆体力向上く多様な動き

毎朝のマラソン(くじらっこタイム)から1日がスタートします。体育の授業の充実のもとより、水泳記録会、運動会、陸上記録会、マラソン大会などの行事と関連させながら、多様な動きと体力を高



引き渡し訓練

めるために年間を通して計画的に取り組んでいます。

◆防災教育く人間力の涵養

本校は、高知県実践的防災教育推進事業の指定校として、取り組んでいます。

地震・津波のメカニズムについての知識学習を基に、「思考力・判断力・表現力・行動力」の基礎を養うための教科学習、そして、避難訓練を通して実践的な学びを深めていきます。また、保護者・地域とのつながりを図るために、防災教育参観日を設け、講演会や引き渡し訓練、炊き出し訓練を企画・実践しています。このような取り組みを通して、自らの命を守り、家族や友だち、地域の方々を思いやる人間力を養いたいと考えています。

田ノ口小学校

『意欲的に活動し、心豊かにたくましく生きる児童の育成』

校長 溝淵 雅一

◆朝の活動はいいさつ運動から

田ノ口小学校は、9月より1年生に転校生が加わり、現在59名の児童数である。子どもたちの登校は比較的早く7時ごろから始まり、8時前、馬荷からのスクールバス到着で終了する。あいさつ運動は、児童会により毎週月曜日の朝、登校時間帯に行っている。その成果からか、地域の皆さんからも「元氣よく明るいあいさつができています」との評価をいただけるようになってきている。

◆朝マラソンで心身の強化

8時5分、準備運動をする中、体育委員会から放送が入り朝マラソンが始まる。音楽に合わせ低・高学年で内・外回りに分かれ自分たちのペースでトラックを周回している。走った回数は、朝の会で個々の記録として残し、子



◆読書力の構築に向けて…



火〜木 曜日の始業前、4人の読書ボランティアさんと図書館支援員さ

んが各学級に入り読み聞かせを続けてくださっている。1年生から6年生まで全員が集中して聞き入ることができており、読み聞かせに入らない学級でも自分たちで静かに読書の時間を楽しめるようになってきている。

◆地震・津波から命を守る…

田ノ口小では、本年度耐震工事が入り、校舎の内外が補強され安心の度合いが高まった。



また、津波を想定して学校の裏地にある「せせらぎ公園」と国道を入野方面に逃げる「緑野団地」の2カ所を避難場所に設定して、年間8回、この2つの場所への避難訓練を交

互に繰り返しており、子どもたちの「自分たちの命を自分たちで守る」ための意識を高めている。

◆基礎学力の定着を目指して

今年も、毎週水曜日の午後校内研究の時間を設定し、子どもたちの日々の様子や学力定着に向け研究がなされている。

提示の

本年度の標準学力調査の結果においては、どの学年も正答率の平均は、ほぼ全国

平成26年度 標準学力調査結果 (全国を1とする)

	2年	3年	4年	5年
国語	0.99	1.07	1.02	1.08
算数	0.94	1.05	1.06	1.02

と同等であるといえるが、全国学力テストではわずかではあるが国語B(活用する力を問う)でマイナスマが見える。引き続き日々の授業の改善や家庭学習の定着を大切にし、意欲をもって学ぶ姿勢を育てていきたい。また、学んだ知識を活用するための言語能力を育む取り組みを進めている。同時に子どもたちが楽しく学べる学習集団づくりに全力を尽くしていきたい。

◆今、仲間と共に…

「学校は楽しい」とほとんどの子どもが言ってくれる。休み時間には、すべり台や雲梯などの遊具や一輪車、サッカーなど、それぞれの好みでグループが形成され、楽しく遊ぶ姿があらこちらで見られる。そんな子どもたちに、力を合わせ一つの物を完成させる集団づくりを行っている。

今年もそれぞれの学年でテーマを決め共同作品づくりに取り組んだ。子どもたちの知恵は無敵で次々にアイディアが浮かび作品に取り入れていった。仲間と連携し協力していく時間がゆつくり流れた。



完成品は毎年、いの町紙の博物館で行われている「紙とあそぼう作品展」に出品し評価を得るなど、励みになっている(関連記事8ページ)。

また、子どもたちが力を付け成長をしていると感じる場面に、一輪車の創作活動がある。毎年、運動会で披露し、保護者や地域の皆さんに感動を

与えているのであるが、その曲決めから内容の場面構成までをほぼ子どもたちで考え決めているのである。それも低学年を含めた希望者の集団のため、能力



差や限られた時間の中、早朝練習を繰り返して、今年も校庭いっぱい大きな花を咲かせ自信をつけてきている。

◆コミュニティスクール

地域の皆さんにあらゆる場面でご支援をいただいているのであるが、その一つに「開かれた学校づくり推進委員会」がある。区長さんや民生委員さん、PTA役員が中心になって学校への提言をいただいている。

今年、先進校である大川村の大川小学校との交流を行う中、県の指定を受け「開かれた学校づくり」を基盤に「コミュニティスクール」の立ち上げを行っている。

